



## アートな麻布に魅せられて②⑤ 新聞少年の像 働く庶民の代表選手

「新聞少年の像」(朝倉響子作)は有栖川宮記念公園の高台に位置する広場にある。固く結ばれた口元と握り拳、筋肉質の肢体、重量感ある新聞の束。この銅像は「新聞を配る少年保護育成の会」によってつくられた新聞少年の像の第1号である<sup>1</sup>。建立から60年余り、少年は孤高のオーラを放っている。

台座背面側には設立の趣旨が記されている。

毎朝毎晩 私たちの待っている新聞を届けてくれるのは、多くの配達少年です。/ 雨にも、風にも、負けないで元気に働く少年たちです。/ その清純な姿が朝倉響子氏の手によって表現されました。/ この像は、少年たちには、仕事への誇りと責任を、/ 大人には、働く少年たちへもっと愛の想いをと、呼びかけているのです。/ 昭和三十三年五月三十日 新聞を配る少年保護育成の会

昭和33(1958)年といえば、東京タワー(日本電波塔)竣工の年。テレビの全世帯普及率は未だ10.4%<sup>2</sup>だった頃である。その一方、当時新聞配達少年は都内だけでも2万人<sup>3</sup>いるといわれた。会の設立と像の制作に尽力した高崎節子労働省東京婦人少年室長(当時)は「『像は建てても義務教育中の少年たちが働かなくてもすむような社会になる方が、もっと良いのですが』と語っていた」(読売新聞夕刊1958年4月30日)。

原型を制作した彫刻家・朝倉響子(1925-2016)は、日本近代彫刻界の重鎮 朝倉文夫(1883-1964)の次女である。父・文夫の教育方針に依り、正規の学校教育は受けず、芸術家たるべく天才教育を受けた。<sup>4</sup>



左手前が「新聞少年の像」右奥が「有栖川宮熾仁騎馬像」



広尾口から高台広場へと登りつめると真正面奥にある。階段を避けたい場合は管理事務所や都立中央図書館寄りの入口からがおすすめ。

制作にあたり響子は「配達少年」の少年らしい明るい健康さと働く真剣さを強調したい。それを見て少年たちが励まされるようなものにしたい。今まで「えらい人」の銅像はあったが、働く庶民の姿を街頭に建てた例は少ない。その意味でも新しいものを生み出したい(朝日新聞朝刊1957年5月27日)と意気込みを語った。同時期、「新聞を配る少年を讃える歌」の歌詞が一般募集された。西条八十、サトウハチローらの審査により553篇中第1位に選ばれた歌詞が台座正面に刻まれている。

### 僕は少年新聞や

軽くしごけば新聞の  
インキがブンと匂います  
大事にかかえて走るとき  
マラソン選手のように  
ぼくは元気な新聞や

歌詞は3番まであり、富田勲が作曲、レコードも発売された。

ちなみに同じ広場内には当公園のシンボル「有栖川宮熾仁騎馬像」もそびえる。明治36(1903)年、千代田区三宅坂旧参謀本部構内に建立された。それが道路拡幅事業に伴いゆかりの深いこの公園に移設されたのが昭和37(1962)年のこと。順番としては「働く庶民」少年の像の方が、「えらい人」の像を迎え入れることとなった。

昭和33年、像の建立当時10代だった彼らも、現在は70代を迎えている。おひとりでも多くの元・新聞配達少年少女の方々が、長く健脚を保たれることをお祈りしたい。

(文中敬称略)

<sup>1</sup> その後同じ型の銅像が岡山市、京都市、広島市、神戸市にも建立された。  
<sup>2</sup> 内閣府消費動向調査統計表一覧 <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/shouhi/shouhi.html> より  
<sup>3</sup> 直近のデータ(2019年時点)によると18才未満の新聞販売所従業員数は全国で939人。(一般社団法人日本新聞協会調査データ <https://www.pressnet.or.jp/data/employment/employment04.php> より)  
<sup>4</sup> 『朝倉響子展』(ギャラリーユニバース、1973)略歴より

取材協力 公益社団法人 日本新聞販売協会 事務局長 渡部俊美氏

(取材・文/大村公美子)



## 東日本大震災から10年、熊本地震から5年… 振り返ってみよう!あなたの「そなえ」と「きずな」

今年は、3月11日に発生した東日本大震災から10年、そして4月14日と4月16日に震度7を観測した熊本地震から5年になります。10年前、麻布のまちが約3分間揺れ続けたあのとき、あなたにとって必要になったものは、何でしょうか？

防災グッズ？安全安心に帰宅できるまち？お金？助けてくれる誰か？

先月13日の夜、東日本大震災の余震で再び麻布も約1分間揺れました。。

まちの復興には地域住民と行政の間で様々な課題や困難が生じました。津波で大きな被害を受けた岩手県の陸前高田市では、10年経った今も遠くからでも『奇跡の一本松』が見えるほど、街のほとんどが更地のままです。平成7(1995)年の阪神・淡路大震災から10年あまり後の平成18(2006)年に全国で上映された、神戸の復興にいたる実話をもとに生まれた映画『ありがとう』(文化庁支援、文部科学省推薦)を観ると、日ごろの「そなえ」と「きずな」の大切さに気づかされます。

ならば、実際に震災が起きる前に、地域住民が行政と、まちの復興を考え、「きずな」を深めてみよう—「震災復興まちづくりワークショップ」と名付けられた取り組みが、ここ、麻布で始まりました。

### 「震災復興まちづくりワークショップ」とは？

大震災を想定した復興過程を模擬体験し、「被災後、どのような暮らしとまちを復興していくか」を、地域の人と区職員、専門家とともに話し合い、検討するワークショップ。麻布地区で住み、働き、学ぶ20人が集まり、災害復興論と都市防災計画が専門で「事前復興まちづくり」を提唱されている東京都立大学の市古太郎教授を講師に迎え、次のスケジュールで進めることになったほか、第2回には、日本防災士会東京都港区支部長の三戸谷二朗さんが『ちょっと待って、一斉帰宅!』\*1を用いて、大震災での帰宅困難時に家族間でコミュニケーションをとるための「災害用伝言サービス」を紹介されました。

- 第1回 ガイダンス・復興を考える視点について
- 第2回 災害と復興の課題を考えよう
- 第3回 被災後のまちで大事な取り組みを考えよう
- 第4回 復興の進め方と復興への備えを検討しよう



震災復興まちづくりワークショップの様子。

参加者一人ひとりが日ごろ気づいていた地域の課題が共有され、大きな地図に書き込まれていきました。石垣やブロック塀の倒れそうな場所、建物のガラスが落ちそうなお場所、治安の悪化しそうな場所、広いスペースのある神社や寺の場所、麻布に井戸があること\*2などが話題になったほか、「麻布に仮設住宅を建てられる場所が十分あるのか?」「遠方に人が出て行ってしまって、人の繋がりがなくなってしまうのではないか」など、一人ずつ気づいたことを話しながら参加者どうしが交流し、「きずな」を深めていきました。

### 市古先生からのコメント

「商店街と町会・自治会が連携・協力するように、日ごろからの人のつながりが、災害の時にやっぱり役立つてくるのです。」



\*2 被災時に役立つ井戸と広場(六本木7-7-7) :ザ・AZABU No.50 P.3より

令和3(2021)年1月、緊急事態宣言が出て、ワークショップは中断されました。withコロナの今、「一堂に会して、麻布の地図を大きく広げて、気づいたことをその地図に書き込んでいく」ワークショップを、画面サイズのウェブ会議に代えることは困難だということも、改めて気づかされました。

### 「withコロナ(COVID-19)」時代の「そなえ」

阪神・淡路大震災直後は、壊れた建物の解体で粉塵やアスベストが話題になりました。withコロナの今、これらの対策とウイルス対策とを同時にしていく必要があります。国立病院機構仙台医療センターにある臨床研究部ウイルスセンターの実験によると、マスクの材質によってウイルス除去率は異なり、不織布マスクで9割、布マスクで2~3割、ポリウレタンのマスクで1%と



岩手県陸前高田市の今。津波で流されずに残った『奇跡の一本松』が見渡せる。

の結果から、不織布マスクが最も優れており、マウスガードやフェイスシールドはマスクの代用にはならないとも言われています。もっとも、不織布マスクでも、鼻と口を覆っているなど正しく着けておく必要があります(このことは、アメリカのCDC=疾病予防管理センターでも、同様の説明がなされています)。

また、withコロナの今、避難所や帰宅困難者一時滞在場所では十分な換気が必要とされ、人と人の距離をあけるために受け入れ人数を減らす必要もあるなど、避難生活も新しい様式に変化することになりそうです。港区では、避難所に行かずに自宅にとどまる「在宅避難」のエリアが増えてきています。あなた自身が、3密を避けるスペースを見つけておくことも、これからの時代では重要な「そなえ」と言えそうです。



アメリカCDCが今年1月に公表したYour Guide to Masksから、マスクの「正しくない」着け方を絵で紹介。

●取材協力 港区麻布地区総合支所まちづくり課

ダウンロードは  
こちらから!



\*1 電話会社ごとの「災害用伝言サービス」の使い方を紹介した『ちょっと待って、一斉帰宅!』。九都県市首脳会議が作成。ダウンロードも可能。

ご参加ありがとうございました!!!

ハッシュタグキャンペーン

# AZABU飯

AZABU meshi



#azabumeshi



👉 みんなの投稿はコチラ!

※ 2021/3/15でキャンペーンは終了しております

## 港区麻布地区総合支所だより



## 「いざ!という時の在宅避難ガイドブック」を作成しました!

## 選択肢は避難所だけではありません!

港区では、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所対策の一つとして、避難スペースの見直しを行っておりますが、避難所に多くの方が密集すると、新型コロナウイルス感染症等が広がるリスクがあります。

麻布地区総合支所では、避難所の過密状態を防ぐため、災害時の避難行動(分散避難)について検討していただくことを目的とした「いざ!という時の在宅避難ガイドブック」を作成しました。このガイドブックでは、在宅避難とは何か、何を準備すればいいのかなど、在宅避難に関することをコンパクトにまとめております。

ガイドブックは、麻布地区にお住まいのみなさまへ各戸配

付(各世帯一部)をしております。また、麻布地区総合支所協働推進課の窓口でも配布しております。また、ガイドブックの内容は、港区ホームページからもご覧になれますので、ご活用ください。

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係  
電話/03-5114-8802

「いざ!という時の在宅避難ガイドブック」  
はこちらから



街のみんなで情報交換



## ご近所情報がいっぱい! 地域SNSアプリ「PIAZZA」

## 麻布での暮らしがもっと楽しくなる。麻布・六本木エリア展開中! ※

「麻布十番でお祭りを開催します」「区内在住の方に、扇風機をお譲りします」「六本木・東麻布周辺でおすすめの小児歯科を教えてください」など、麻布地区での暮らしに役立つ地域情報が、ユーザー発信によって集まっています!

まちの防犯・防災情報や、自治体ニュース、イベントのお知らせなど行政の情報も適宜投稿されます。

「地域のことをもっと知りたい、でも検索するのは面倒…」  
「子育て中の悩みを相談してみたい」、そんな方はぜひ一度「PIAZZA」をお試しください。

※港区、港区麻布町会・自治会連合会、PIAZZA株式会社の3者で、平成30年7月に協定を締結し、「PIAZZA」アプリ内に「麻布・六本木エリア」を開設しました

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係  
電話/03-5114-8802

STEP ① PIAZZAアプリをダウンロード

STEP ② メールアドレスかFacebookアカウントで登録

STEP ③ 名前や出身地などを入力し、「麻布・六本木エリア」を選択



あなたの情報が  
誰かの役に立ちます!  
麻布を楽しみたい人は、  
ご参加ください!

アプリはこちらから  
ダウンロード  
してください



## 都税のお知らせ

自動車の移転手続・廃車手続は  
お済みですか?

自動車税種別割は、毎年4月1日現在、自動車検査証(車検証)に記載されている所有者(割賦販売の場合は使用者)の方に課税されます。自動車を譲渡したときは移転登録、廃車したときは抹消登録の手続が必要です。管轄の運輸支局又は自動車検査登録事務所で手続をお済ませください。

※令和3年3月31日(水)までに手続をお済ませください。

お問合せ/東京都自動車税コールセンター  
電話/03-3525-4066

個人事業者の方へ  
個人事業税の申告期限は4月15日(木)です

申告が必要な方 前年に事業主控除額を超える事業所得等のある個人事業主

申告期限 令和3年4月15日(木)

※所得税の確定申告書や住民税の申告書を提出した方は、改めて事業税の申告書を提出する必要はありません。

※事業を廃止した場合は、廃止の日から1か月以内(死亡による廃止の場合は4か月以内)に個人の事業税の申告をする必要があります。

お問合せ/事務所・事業所が港区にある方  
港都税事務所  
電話/03-5549-3800(代表)

4月から固定資産税における土地・家屋の  
価格などがご覧になれます(23区内)

対象 令和3年1月1日現在、23区内に土地・家屋を所有する納税者

内容 所有資産が所在する区で課税されている土地・家屋の価格など(縦覧帳簿)

期間 4月1日(木)から6月30日(水)まで(土・日・休日を除く)

時間 8時30分～17時

場所 土地・家屋が所在する区にある都税事務所  
納税通知書は6月1日(火)に発送予定です。詳細は、主税局ホームページをご確認ください。

お問合せ/港区にある物件について  
港都税事務所  
電話/03-5549-3800(代表)

買い物  
するなら  
地元の  
商店街で

ザ・AZABUへの  
ご意見・ご要望を  
お寄せください

住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当へ。

●電話/03-5114-8812 ●FAX/03-3583-3782

地域情報紙「ザ・AZABU」は  
ホームページからも  
ご覧になれます。



「ザ・AZABU」は英語版  
も発行しています。

ザ・AZABU

●配布設置場所のご案内  
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番、赤羽橋の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・西麻布・飯倉の各いざいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Staff 出石 子 田中 亜紀  
おおばりか 田中 康寛  
大村 公美子 西森 瑞穂  
加生 武秀 畑中 みな子  
加生 美佐保 堀内 明子  
小池 澄枝 堀内 實三  
Mai S. 堀切 道子  
田岡 恵美 八巻 綾子  
高柳 由紀子 米沢 恵美

## 編集後記

父が2歳の時に関東大震災にあい、私と息子は阪神・淡路大震災を経験。東日本大震災では「帰宅困難」という新たな課題にも直面し、港区の事業を通じて私は防災士の資格を取らせていただきました。

災害を振り返って、行政と地域との協働、つまり普段からの「きずな」がいかに大切であるかを痛感しました。  
(加生美佐保)

## 「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。  
年中無休/午前8時～午後8時 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752

お問合せフォーム/ <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form.html>

“Minato Call” information service  
Minato call is a city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.  
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752;  
Inquiry submission form: <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form-inquiry.html>